

各教科の評価計画の例（中学校数学科）

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価資料1	行動観察	行動観察	行動観察
評価資料2	ノート	ノート	ノート
評価資料3	単元テスト 小テスト	単元テスト 小テスト	振り返りシート
評価資料4	中間テスト 期末テスト	中間テスト 期末テスト	

評価の実際の例 中学校数学科 「主体的に学習に取り組む態度」

第2学年 「一次関数」

◆ 単元の評価規準

主体的に学習に取り組む態度

- ① 一次関数について考えようとしている。
- ② 一次関数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。
- ③ 一次関数を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。

わかったこと・大切な考え方など	まだはっきりしないこと・知りたいこと
小単元1 比例に似た関数はいったい何なのだろうか？ 「関数は一般化するや $y = ax + b$ と表すことができる。また比例ならば一次関数であるが、その逆はない。」	まだ変化の割合は(yの増加量)÷(xの増加量)ですが、なぜそうなるのか分かりません。
小単元2 一次関数にはどんな特徴があるのだろうか？ 一次関数 $y = ax + b$ の変化の割合は一定でxの係数aに等しい。グラフをかいた時、変化の割合を傾き、原点の部分を切片という。また、式を求めるときは $y = ax + b$ のa, bの値がわかれば求められることができる。他にも変化の割合や2つの座標がわかれば求める。	小単元1の理由が引き続きわかりません。他にも、変化の割合が $y = ax + b$ の時、何故aの部分に入るのかということもわかりません。(2つ目は先生に理由をお伺いしてわかるようになりました。) 他は特にありません。
小単元3 一次関数はどのように使えばよいだろうか？ 変化の割合が一定でない場合でも、誤差があると考えることができる。また、理想化・単純化することもあってグラフに表すことができる。	理想化・単純化した場合、グラフでかき物少の誤差が出てしまったり、またその日毎の誤差は、それを信じて一番答えに近い値になるのか？

「小単元1、2」一次関数の意味や特徴についての学習状況を自己評価した上で、その後更に考えていきたいことが具体的に示されている。

「小単元3」問題解決するためのよりよい方法を更に知りたいということが具体的に示されている。

単元の評価規準①～③に対してすべて具体的な意思が読み取れる。

→「A」と判断